



「北海道遺産」天塩川カヌーツーリング大会

# ダウン・ザ・テッシ-オ-ペツ 2026

兼 第23回北海道カヌーツーリング大会

■ 「ダウン・ザ・テッシ-オ-ペツ」【略称:ダウン・ザ・テッシ】とは、天塩川下りという意味の英語とアイヌ語の造語です。

ダウン・ザ・テッシは、流域カヌークラブの愛好者が「自分たちが参加したい大会を目指し」実行委員会を組織し1992年に初開催し、コロナ禍での2年間(2020~2021)の中断をはさみ今年で33回目の大会を迎えます。

1995年までは天塩川100マイルカヌーレースという名称でタイムを競うレース部門とマイペースで下るツーリング部門が開催されていました。

現在は毎年、1泊2日の日程で複数の市町村を40km~60km前後のコースを漕ぎ下るツーリング大会として定着。数年に1度、日本海、天塩町までの100マイルを漕ぎ下るスペシャル大会を開催しています。

道内を中心に全国各地から、これまでに延6千人以上が参加する北海道を代表するカヌーツーリングイベントとして多くのリピータから親しまれています。

## ■2026年大会エントリー状況

艇種	艇数	選手数	備考
カナディアン	46艇	89人	レンタル5艇
カヤック	32艇	39人	1人乗り25艇 2人乗り7艇
シーカヤック	9艇	9人	1人乗り9艇
ファルト	15艇	23人	1人乗り7艇 2人乗8艇
インフレーターブル	5艇	6人	1人乗り4艇 2人乗1艇
SUP	7艇	7人	
計	114艇	173人	愛犬同乗2匹
スタッフ艇	33艇	48人	陸上スタッフ24除く
合計	147艇	221人	陸上・水上スタッフ計72人 総合計245人

道外参加: 東京、千葉、茨城、埼玉、栃木、岐阜、京都、大阪、兵庫、愛知、広島 22人

海外参加: 台湾、アメリカ(計5人)